

ガレキ・伐採木・水処理二次廃棄物の保管におけるトピックス(H27年1月29日)

分類	保管量(m ³)	保管容量(m ³)	占有率(%)	トピックス	
	H26年12月26日時点(H26年11月30日報告からの増減)				
ガレキ	屋外集積 (0.1mSv/h未満)	84,700 (+2,300)	158,100 (+60,900)	54	<ul style="list-style-type: none"> ・主なガレキは、工事で発生した廃材。 ・エリアP1運用開始(H26年10月24日)
	シート養生 (0.1~1mSv/h)	27,200 (+100)	48,300	56	<ul style="list-style-type: none"> ・主なガレキは、工事で発生した廃材、建屋内に設置していた撤去機器、水処理で使用したホース類及び廃車両。 ・今後発生量の増加が見込まれるため、廃棄物発生量の抑制や既保管物の減容処理を進めていく。 ・エリアP2運用開始(H26年10月24日)
	覆土式一時保管施設、仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	17,300 (+100)	23,700 (+1,800)	73	<ul style="list-style-type: none"> ・主なガレキは、原子炉建屋上部等で撤去されたガレキ。 ・1号機ガレキ撤去に向けて、覆土式一時保管施設3.4槽設置(8,000m³)の安全協定に基づく事前了解(H26年8月12日)。 ・エリアE2運用開始(H26年10月24日) ・覆土式一時保管施設3槽設置工事開始(H26年11月10日)
	固体廃棄物貯蔵庫	5,100	12,000	43	<ul style="list-style-type: none"> ・主なガレキは、原子炉建屋上部等で撤去された高線量ガレキ。 ・第9棟設置(ドラム缶 約11万本)に向けて安全協定に基づく事前了解(H26年8月12日)。 ・第9棟設置に伴う実施計画変更認可申請(H26年8月13日)
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	62,400	88,200	71	<ul style="list-style-type: none"> ・主にエリアP1造成により伐採した幹・根を受入。 ・その他工事により発生した幹・根を随時受入中。
	一時保管槽 (枝・葉)	17,400	50,100	35	<ul style="list-style-type: none"> ・当面受入を計画していた枝葉については、チップ化した後、エリアTの伐採木一時保管槽へ受入完了。

※保管量、保管容量については端数処理で100m³未満を四捨五入

分類	保管量	保管容量	占有率(%)	トピックス	
	H27年1月22日時点(H26年12月23日報告からの増減)				
水処理 二次廃 棄物	使用済ベッセル (セシウム吸着装置使用済ベッセル、第二セシウム吸着装置使用済ベッセル、多核種除去設備等の保管容器及び処理カラム、高性能多核種除去設備使用済ベッセル、モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類)	1,621本 (+188)	3,317本	49	<ul style="list-style-type: none"> ・多核種除去設備の高性能容器を保管する使用済吸着塔一時保管施設第三施設(容量3,456本/18ブロック[※])について実施計画変更認可(H26年11月20日) ・使用前検査が終了し使用承認を得た範囲(768本/4ブロック[※])を運用開始(H26年12月9日) <p style="text-align: right;">※192本/ブロック</p>
	スラッジ	597 m ³	700 m ³	85	<ul style="list-style-type: none"> ・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。
	濃縮廃液	8,948 m ³	20,000 m ³	45	